

## 湘南藤沢学会 研究助成金

### (B) 研究会合宿・研究会レベルでの交流活動 成果報告書

総合政策学部 兼 政策・メディア研究科 教授

藁谷郁美

政策・メディア 研究科修士1年/研究室 TA

久野 里伊奈

#### 1. 活動概要

「藁谷郁美研究会合宿」

日程：2018年11月19日(月)～11月21日(水)

会場：神奈川県三浦市南下浦町上宮田 3231 マホロバ・マインズ三浦

#### 2. 活動目的

本研究会では、1) 個人研究の推進 および 2) グループワークによる多言語メディア比較分析、この2つの柱を柱組みに、日頃の研究会活動を進めている。本合宿では、特に1)に関する各研究のこれまでの実績を「中間発表」の形で発信する場として位置付け、集中的なディスカッションを通じた問題意識の共有を行うことを目的とした。

#### 3. 活動内容

今回の合宿では、前半11月19日～20日の午前中にかけて大学院生ゼミ(修士課程在籍生および博士課程在籍生)を開催し、大学院生3名の研究発表および質疑応答を行い、各発表に対するディスカッションを集中的におこなった。その際に、卒業制作に携わる学部生3名もディスカッションに加わった。後半の11月20日午後から21日の午前中に学部生(両学部の1年生～4年生)が加わり、個人研究の発表およびディスカッションをパネルディスカッションの形式で遂行した。それぞれのテーマは以下の通りである：

佐藤友紀子(政メ博3):「メディアと宗教言語の機能:「3.11」をめぐる日・独・英の報道分析・比較」

Stefan Brückner(政メ博2):「Exploring Cultural Differences in Player Experience」

須藤恒永(政メ修2):「鉄道と日本文学—都電荒川線を巡る作品分析—」

藏本柚奈(総4):「メディアの発信方法と意識の相関性—セクシュアリティに対する意識の日豪比較—」

田中実佳(総4):「現代日本社会における古着ファッションの受容と活用」

藤巻莉奈(総4):「スペイン国内に存在する表現の差異について」

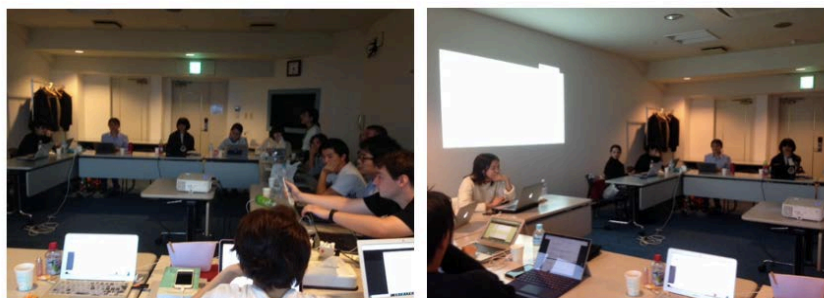
百瀬世菜(総4):「美の価値観、理想の相違」

フォレスト マックスウェル(環4):「デジタル教科書を用いた言語学習環境の開発」

石川万奈恵(総3):「舞台裏の現状と未来」

高山実子(総 3)「紙媒体としての大学スポーツ新聞の必要性」  
上園晃博(総 3)「Media of Football -between Japan and England」  
峰岸玄(総 3)「日本原作、アメリカ映画化におけるリメイク比較研究」  
丸山倫(総 3)「別物質や人工的な刺激による新しい食体験の創造」  
小野真太郎(環 3)「いかにしてリベラルアーツ教育を実施するか」  
内野愛里奈(総 2)「日本における主権者教育浸透の可能性」  
吉成悠(総 2)「バレエのローカライゼーション～日本文化との共存～」  
石井朋希(総 2)「参加者目線から見る 2020 東京ビッグサイト問題」  
日生ケイン(環 2)「日本の製品の CM はどの程度までタイの消費者の興味を合わせるために文化的に変化しているのか」  
篠田菖子(総 1)「ソーシャルメディア“YouTube”上で表象される Beauty Ideal の形は、日本語とドイツ語でどう異なるのだろうか？」

#### 【中間発表の様子】



#### 4. 今後の展望

本合宿を通して様々な問題意識・視点が共有され、同時に各自の研究を相対化することができた。今後はこの経験を踏まえて協働学習の形での研究活動を活性化させていきたいと考える。

\*湘南藤沢学会の助成により、非常に有意義な合宿を行うことができました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

